



学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ田島小の子

【学校教育目標】
心豊かで
がんばる子
進んで頑張る子
思いやりのある子
健康で明るい子

平成30年度 学校評価アンケート(4者比較)

No.	評価項目	教職員		保護者		地域		児童
		H30	H29	H30	H29	H30	H29	
①	強い子の育成「本校の児童は、自ら進んで行動する『強い子』に育っている。」	3.2	未	3.0	未	3.3	未	3.0
<p>今年度から、新たに始めた評価項目です。本校の教育活動の合い言葉となる「強い子」について、どのくらい意識が根付いているかを評価します。保護者、児童の評価は若干低いものの、4者とも及第点となる3を超えており、概ね良好と言えます。今後も、誰かに言われてから動くのではなく、自ら考え進んで行動することのできる児童の育成を目指してまいります。</p>								
②	信頼関係「本校の児童は、「先生を信頼して」学習している。」	3.3	↑ 3.1	3.3	↓ 3.4	3.4	↓ 3.5	3.4
③	体験活動「学校は、『体験活動』を授業に取り入れ、効果をあげている。」	3.3	↑ 3.0	3.3	— 3.3			
④	学力向上「本校の児童は、『授業よく理解』している。」	3.1	↓ 3.2	2.9	↓ 3.1			3.6
⑤	授業の楽しさ「本校の児童は、『授業が楽しい』と感じている。」	3.3	↑ 3.0	3.1	↓ 3.2	3.4	↓ 3.5	3.4
<p>主に、学習についての評価項目で、ほとんどの項目で3を上回っています。特に、教員と児童との信頼関係については、4者とも3.3~3.4と、大変高い数値となっており、良好であるということが出来ます。しかし、学力については児童の自己評価が非常に高くなっており、教職員や保護者の評価と大きく乖離しているのが分かります。間もなく返却される「さいたま市学習状況調査」などを活用し、より客観的な学力を児童に示していく必要があります。</p>								
⑥	あいさつ「本校の児童は、『あいさつをよくする子』に育っている。」	3.0	↑ 2.8	2.7	↓ 2.9	3.4	↑ 3.0	3.5
⑦	返事「本校の児童は、『返事をよくする子』に育っている。」	3.0	↓ 3.2	2.8	— 2.8			3.5
⑧	あいさつ運動「学校の『あいさつ運動』は、効果をあげている。」	3.2	↑ 2.8	2.8	↓ 2.9			
<p>「あいさつ」や「返事」に関する評価項目については、昨年度に引き続きあまりよくありません。保護者による評価が3を下回っており、改善が必要です。特に、登校時の旗振りをしていただいている保護者へのあいさつが良くないようです。また、児童の自己評価がかなり高く、保護者の意識との間に大きなギャップがあります。学校でのあいさつ指導を継続するとともに、家庭・地域とも連携して児童に指導をしていかなければなりません。</p>								
⑨	仲良く生活・規範意識「本校の児童は、『仲良く生活し、約束やルールを守る子』に育っている。」	3.3	↓ 3.9	3.0	↓ 3.1	3.3	↑ 3.2	3.5